

ワークショップ 1: 日本の常識 海外の非常識

米国留学で実感した事

鳥取大学医学部器官制御外科学講座腎泌尿器学分野

本田 正 史*

抄録:

2006年に米国ピッツバーグ大学へ留学した。Naoki Yoshimura 教授夫妻には最初のセットアップ全般を助けて頂き、その後も大変お世話になった。研究室は世界的に有名で日本人以外にも、ヨーロッパやアジア各国の研究者も多く在籍し熱気に満ちていた。その中で日本では経験できない事に度々遭遇した。日本で暮らしているだけでは分からない価値観や常識がある事を肌で知れた事は大きな収穫であった。

(西日泌尿. 86: 215-216, 2024)

キーワード: 海外留学, 価値観, 常識

1. はじめに

2006年4月から2007年3月までの1年間、米国ピッツバーグ大学泌尿器科に留学した。ラボを主宰されていた Naoki Yoshimura 教授夫妻には最初の難関である生活のセットアップ全般をサポートして頂き、その後の留学期間中も大変お世話になった。志を同じにする仲間にも恵まれ、研究も遊びも思う存分楽しむ事ができた。日本では経験できない、想像もできない事に度々遭遇し、時にストレスが溜まり、時に呆れ、そして最後は諦めて受け入れ、それらを少しは楽しめるようになった。そのいくつかを紹介する。

2. 期日はあつてないようなもの

当時、ピッツバーグ大学での研究開始には social security number の取得が必要であった。申請しても4カ月以上かかる事もあると同僚から言われ、留学期間が限られている私は、早速ダウントウンにある事務所に申請しに行った。申請窓口では1週間で必ず届くと言われたが案の定届かない。治安の悪いと思われる地域にある事務所に何度も通い、ようやく1カ月半後に届いた。また、ケーブルテレビ工事を予約しても、予約日に作業員は現れず、改めて連絡しても謝る様子はなく、別の日に笑顔で来てくれたが、到着したのは予約時間の4時間後であった。

3. アピールしすぎるぐらいで丁度

上記のように米国では必要な事を正当に主張することは普通であり、黙って待っていても状況は全く変わらない。日本にいる時よりアピールを少し強めにするぐらいが丁度良いと感じた。

4. 時間について厳しすぎない

研究室のミーティング等、重要なものは時間通りに行われる。しかし歓迎会等のパーティは開始や終わりの挨拶もなく、自由に来て、楽しんで、自由に帰る感じであった。これ以外でも社会には少しだけ緩やかで寛容な空気が流れているように感じられた。

5. after you と ladies first

レストランでもフードコートでも、女性の椅子を引いてサポートしてから、男性が座る場面をよく目にした。デパートに娘と行った時、入り口の前に行くと、店内から母親と一緒にだった小学校低学年ぐらいの男の子が勢いよく走ってきた。先に男の子を通して親子とすれ違った。その直後、母親は男の子を叱りだした。少しびっくりして何を言っているか聞いていたところ、目の前から小さな女の子が来たのにあなたはなぜ彼女を先に通してあげないの?と男の子に教えているようだった。当然、人種や民族によっても異なると思われるが、小さな頃から after you, ladies first の文化を教えられていることに感心した。

* 〒683-8504 鳥取県米子市西町 36 番地 1

TEL 0859-38-6607, FAX 0859-38-6609

E-mail honda@tottori-u.ac.jp

受付日: 2024 年 1 月 18 日

受理日: 2024 年 2 月 2 日

6. 最 後 に

世界の情報がリアルタイムに入手できる今の時代、ソフトとハード両面の研究環境が揃っていれば、日本国内での研究も十分に可能との意見もあると思われる。しかし、海外留学には、①世界をリードする指導者、優秀な研究者方の働きぶりを間近にみることができる、②長くお付き合いさせてもらえる関係を構築できる、③様々な

習慣や価値観を肌で実感することができる、④思うようにいかない環境の中で、今までにない自分を知ることができる、⑤日本にいる時より、少しだけ家族と過ごす時間が増える等、多くの利点があると思われる。次世代を担う若い先生方には、長い医師人生の中の一つのキャリアとして、海外留学という選択肢を取り入れて頂きたいと考えている。

SOME THINGS I LEARNED WHILE STUDYING ABROAD IN THE UNITED STATES

MASASHI HONDA

Division of Urology, Department of Surgery, Tottori University Faculty of Medicine, Yonago, Japan

Abstract

I studied abroad at the University of Pittsburgh in 2006. Professor Naoki Yoshimura and his wife helped our family prepare for life, and continued to help us during our stay in the United States. While studying abroad, I often encountered things that I could not experience in Japan. It was a great experience for me to learn that there are values and common sense that I didn't know when I lived in Japan.

(Nishinohon J. Urol. **86**: 215-216, 2024)

key words: study abroad, sense of values, common sense
